

(7) 水道事業会計決算の状況

ア 総括事項

平成29年度の水道事業は、平成22年度に策定した流山市水道事業基本計画(平成23年度～平成32年度)(以下「基本計画」という。)における「市民への安全な水の安定供給をめざして」を基本方針とし、流山市水道事業に係る認可(以下「第6次拡張変更認可」という。)及び平成27年度に策定した流山市水道事業経営戦略(平成28年度～平成39年度)に基づいて事業を実施した。

収入面において、給水収益については本市の人口増加に伴い、給水区域内人口が2.82パーセント増加し、年間有収水量が2.51パーセント伸びたことにより、平成28年度に比べ1.62パーセント(46,007,669円)の増となった一方、給水申込納付金については、マンション等の建設がひと段落したため前年度に比べ16,320,000円減の695,770,000円(税抜)となったが、依然として人口増加傾向にあるため、損益では、1,123,399,346円の利益となった。

災害時の対応については、応急給水用具等の整備を進めるとともに、緊急時における適切な対応を行うため、応急給水所に指定している市内小学校の受水槽給水栓設置が完了し、また市内の事業所等の協力を得て水道給水訓練等を行った。

一方、水道事業を取り巻く環境は、1日最大給水量が53,300m³と前年度と比較し1.1パーセント増加し、給水人口が2.89パーセントと伸びているが、年間有収水量は2.51パーセントの伸びに留まっていることから、前年度に引き続き一人当たりの給水量は減っている状況となっている。

運営面において、上下水道局庁舎環境衛生管理業務等及び清掃業務委託、浄水場の運転管理業務及び維持管理等業務委託、給水装置関連及び漏水修理等業務委託、浄水場及び水道局庁舎警備委託について継続して民間に委託し、水道利用者の利便性の向上と効率的な運営に努めた。

イ 建設事業

基本計画及び第6次拡張変更認可に基づき、既設浄水場浄水・配水施設の耐震化に伴う改修工事を実施したほか、配水管の改良、拡張工事を実施した。

既設浄水場の耐震化については、江戸川台浄水場1号配水池及び浄水施設等の耐震化工事を実施した。

一方、配水施設整備事業は、給水区域の安定した給水と一定の水圧を確保するため、配水管の口径変更と塩化ビニル管等を、地震に強いダクタイル鋳鉄管や水道配水用ポリエチレン管に改良する配水管改良工事10件、延長2,554.9

メートルを実施したほか、舗装本復旧工事5件、面積6,396.0平方メートルを実施した。また、未給水区域の解消を図るため、配水管拡張工事2件、延長569.0メートルを実施した。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る配水管拡張工事として、木地区、運動公園周辺地区、新市街地地区、西平井・鱈ヶ崎地区、鱈ヶ崎・思井地区において前年度からの繰越7件を含む拡張工事8件、延長7,545.7メートルを実施し、安心・安全な水の安定供給追求を図った。

ウ 業務の状況

平成29年度末の給水人口は186,241人で、平成28年度に比べ5,143人増加し、給水普及率は98.79パーセントとなった。

年間有収水量は16,882,193立方メートルとなり、平成28年度に比べ413,770立方メートルの増となった。

また、水道料金等の不納欠損金処理は、265件、801,451円で、平成28年度に比べ631,944円の減となった。

このほか、給水申込納付金の調定状況は、2,779件、751,431,600円、臨時給水については、933件、29,018,119円となった。

エ 経理の状況

収益的収入は、4,400,853,637円で、平成28年度に比べ135,254,916円の増収となった。この主な要因は、退職給付引当金の取り扱いを上下水道局で統一し、廃止したことにより特別利益としたことによるものである。

一方、収益的支出は、3,198,756,076円で、平成28年度に比べ43,632,357円の減少となった。この主な要因として、減価償却費及び支払消費税及び地方消費税が減少したこと、水道メーターの検満交換の件数が前年度より少なかったこと等によるものである。

このような状況の中、平成29年度の損益は、税抜きによる収益的収入が4,109,397,701円、収益的支出が2,985,998,455円で、収入から支出を差し引くと1,123,399,246円の純利益を計上することができた。

資本的収入は、304,595,318円で、平成28年度に比べ81,461,177円の減少となった。その主な要因は、企業債の借入れをしなかったことによるものである。

この資本的収入のうち、工事負担金302,019,200円は、資本的支出のつくばエクスプレス沿線整備事業費に充てるため、沿線区画整理事業者との負担協

定に基づき収入したものである。

一方、資本的支出は、2,280,766,039円で、平成28年度に比べ137,230,375円の増額となった。その主な要因は、江戸川台浄水場浄水施設等改修工事及び江戸川台浄水場配水池改修工事を行ったことによるものである。

オ 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案第68号	平成29年度流山市水道事業会計補正予算(第1号)	H29. 8.31	H29.10. 2
議案第71号	平成28年度流山市水道事業会計決算認定について	H29. 8.31	H29.10. 2
議案第27号	平成30年度流山市水道事業会計予算	H30. 2.15	H30. 3.19
議案第28号	平成29年度流山市水道事業会計補正予算(第2号)	H30. 2.15	H30. 3.19

カ 職員に関する事項(上下水道事業管理者及び再任用職員を除く)

職種	平成30年3月31日 現在の職員数(人)	平成29年3月31日 現在の職員数(人)	増減 (人)
事務職員	11	13	△2
技術職員	6	5	1
合計	17	18	△1